

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		成城大学		設置者名		学校法人 成城学園		
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)			
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
経済学部	経済学科	180人	中一種免(社会)	平成2年度	205人	3人	3人	0人
			高一種免(地理歴史)	平成3年度			3人	
			高一種免(公民)	平成3年度			3人	
	経営学科	180人	中一種免(社会)	平成2年度	187人	3人	3人	0人
			高一種免(地理歴史)	平成3年度			3人	
			高一種免(公民)	平成3年度			2人	
			高一種免(商業)	平成2年度			0人	
	文芸学部	国文学科	60人	中一種免(国語)	平成2年度	66人	13人	13人
高一種免(国語)				平成2年度	13人			
英文学科		75人	中一種免(英語)	平成2年度	71人	9人	8人	0人
			高一種免(英語)	平成2年度			9人	
文化史学科		60人	中一種免(社会)	平成2年度	53人	13人	13人	1人
			高一種免(地理歴史)	平成3年度			13人	
			高一種免(公民)	平成3年度			13人	
ヨーロッパ文化 学科		60人	中一種免(ドイツ語)	平成2年度	70人	1人	0人	0人
			中一種免(フランス語)	平成2年度			1人	
			高一種免(ドイツ語)	平成2年度			0人	
	高一種免(フランス語)		平成2年度	1人				
法学部	法律学科	240人	中一種免(社会)	平成2年度	244人	8人	8人	0人
			高一種免(地理歴史)	平成3年度			7人	
			高一種免(公民)	平成3年度			7人	
入学定員合計		855人	合計		896人	50人	123人	3人

大学名	成城大学(大学院)		設置者名	学校法人 成城学園				
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成22年度)			
研究科	専攻等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員 就職者数
						実数	個別	
経済学研究科	経済学専攻	15人	中専修免(社会)	平成2年度	3人	0人	0人	0人
			高専修免(地理歴史)	平成6年度			0人	
			高専修免(公民)	平成6年度			0人	
	経営学専攻	10人	高専修免(商業)	平成2年度	9人	0人	0人	0人
文学研究科	国文学専攻	10人	中専修免(国語)	平成2年度	1人	0人	0人	0人
			高専修免(国語)	平成2年度			0人	
	英文学専攻	10人	中専修免(英語)	平成2年度	0人	0人	0人	0人
			高専修免(英語)	平成2年度			0人	
	日本常民文化専攻	10人	中専修免(社会)	平成2年度	5人	2人	2人	0人
			高専修免(地理歴史)	平成6年度			2人	
	ヨーロッパ文化専攻	10人	中専修免(ドイツ語)	平成2年度	3人	0人	0人	0人
			高専修免(ドイツ語)	平成2年度			0人	
			中専修免(フランス語)	平成2年度			0人	
			高専修免(フランス語)	平成2年度			0人	
法学研究科	法律学専攻	10人	中専修免(社会)	平成2年度	3人	0人	0人	0人
			高専修免(公民)	平成6年度			0人	
入学定員合計		75人	合計		24人	2人	4人	0人
備考	・「学部・学科等の名称等」欄は、平成23年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。							

# 実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成23年7月13日（水）

実地視察大学：成城大学

実地視察委員：高岡信也委員、狩野浩二委員

## ■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

### <状況>

- ・幼稚園から大学院まで同敷地内にある総合学園で、大学では3学部7学科、大学院では3研究科7専攻で教員養成を行っている。

### <講評>

- ・教員養成に関する教育課程、教員組織等についてはほぼ良好に実施されていると考えるが、一部教科に関する科目の開設状況で基準が満たされていないため、改善すること。

## ■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

### <状況>

- ・個性の暢達を主眼として広く専門の学芸を研究教授し、広角の視野と高度の教養を具え、かつ、豊かな個性を持つ社会の先導者を育成することを理念としている。

### <講評>

- ・教員養成に対する理念・構想を明確化・具体化するために、教職課程に対する全学的な組織、教育課程や教員組織がより一層充実したものになるように、今後も努めること。

## ■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

### <講評>

- ・特に教職に関する授業において、IT関連の機器を活用した授業を実施し、より学生の教育現場での手本となるような授業が展開できるよう工夫いただきたい。
- ・科目区分の半数を超えて学部共通科目等が当てられている科目については、基準を満たすよう修正すること。
- ・教育職員免許法施行規則に定める含むことが必要な事項を含んでいることが確認出来ない科目について、授業計画を再考の上、含むことが必要な事項を確認出来るようシラバス上に明記すること。

## ■ 教育実習の取組状況

### <状況>

- ・学生自らで、教育実習受け入れ校を確保している。
- ・平成18年の中教審答申は理解しているが、実際のところ大学で受け入れ校を確保するのは難しい状況である。

### <講評>

- ・教育実習の実施にあたっては、課程認定大学は、教育実習の全般にわたり、学校や教育委員会と連携しながら、責任を持って指導に当たることが求められる。
- ・大学による教育実習指導体制や評価の客観性の観点から、可能な限り大学が所在する近隣において実習先を確保することが望ましいが、学生が出身地の学校への就職を希望する等により、遠隔地における教育実習を行う場合においても、大学が、実習先の学校と連携し教育実習に関わる体制を構築するとともに、公正な評価となるように努めること。

## ■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

### <状況>

- ・教育委員会と連携し、学級運営支援及び行事の実施、大学生チューターとして中学校自習室での個別の学習支援を行っている。

### <講評>

- ・現在も系列校での学習支援等の取り組みを行っているが、今後も早い時期から学校教育現場での体験が出来るよう充実させていただきたい。

## ■ 教職指導及びその指導体制の状況

### <状況>

- ・1年次4月に教職課程ガイダンスを行い、2年次4月に教職課程登録説明会がある。以降、適宜必要な時期にガイダンス等を行っている。
- ・2年次4月に登録した7割の学生が教員免許状を取得している。
- ・主に、教職に関する科目担当の専任教員と教務部学務課の教職課程担当職員2名で担当している。

### <講評>

- ・近年、教員免許状取得希望者が増加しているとのことなので、組織的指導体制を構築の上、教員免許状取得希望者が増えても質の高い教員養成の体制が維持できるように努めていただきたい。
- ・履修カルテの作成にあたっては、学生任せではなく、教員も密なコメントを入れる等、工夫するよう努めること。
- ・また、教職実践演習が創設された背景を鑑みても、教科に関する科目及び教職に関する科目を担当する各教員の協力体制がより一層重要となるため、特に教科に関する科目を担当する教員も教職指導に積極的に関わるようにすること。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・教職課程の運営全般は「教職教育部会」が行い、この教職教育部会は共通教育研究センターに置かれている。構成員は全学部から出ており、会議を定期的に行っている。各種報告事項及び審議事項等は教職教育部会から上部組織の「共通教育研究センター員会議」及び「共通教育運営委員会」を経て、各学部教授会等に報告、付議される。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・学内施設・設備、教育機器等については、学生数の規模に応じて整備されている。図書については、若干指導書が少ないと見受けられるので、改善をお願いしたい。

